

Starry doll

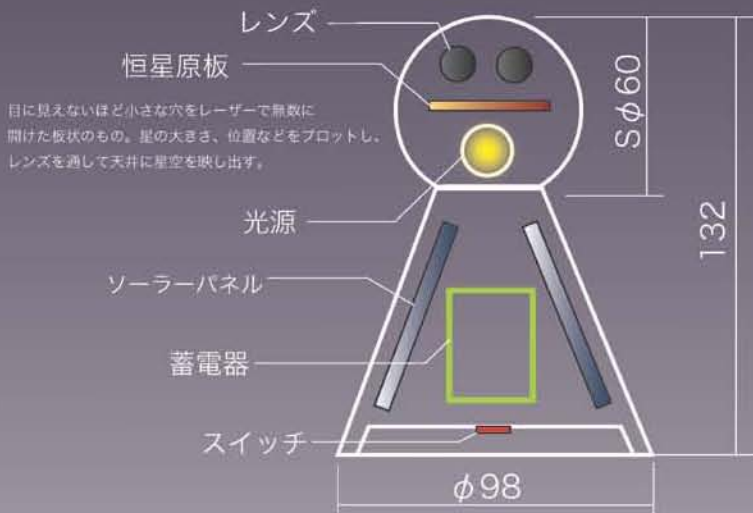
Home planetarium

星空を映し出すてるてる坊主



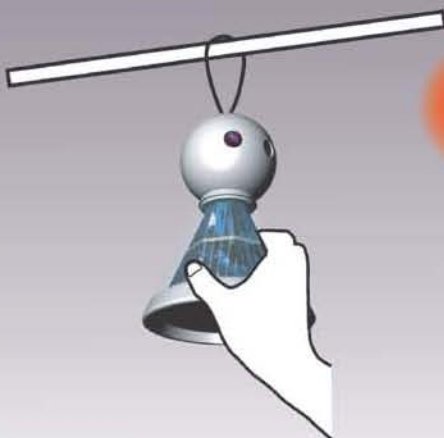
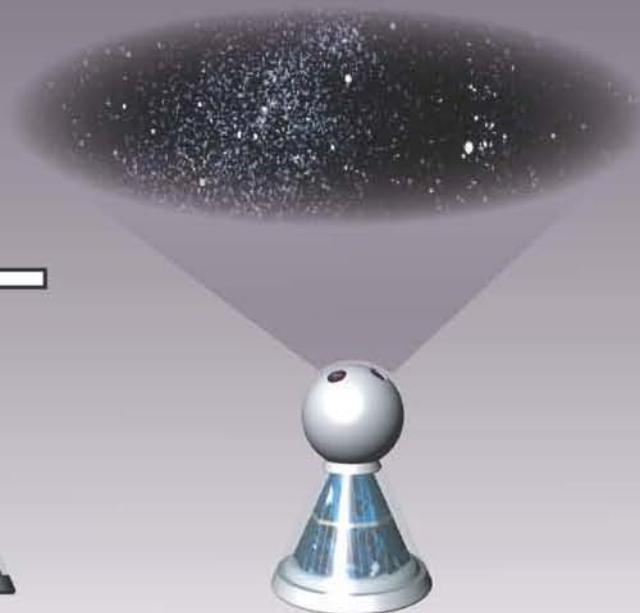
朝・昼間はてるてる坊主、夜は星空を映し出すホームプラネタリウムとして働きます。
本来てるてる坊主は晴天を祈るために作られる人形です。晴天を祈るということは星空を祈るということに繋がっていると解釈し、星空を喜ぶ人形として提案しました。
昼間は太陽電池で電力を蓄え、夜に電気により星空を映し出すという晴れた日でないとも星を見ることができないということをこのてるてる坊主を通して表現しました。幻想的な世界へ誘う満点の星空、それを映すために必要な太陽のエネルギー。そんな自然の大切さ、偉大さをこの Starry doll を通して再認識してもらえると願っています。

Composition

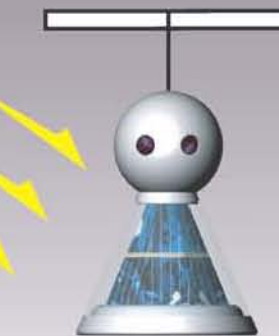


Background

私にとって誘われるものとは星空でした。地元を星のきれいな町で過ごしプラネタリウムもよく見に行きました。引き込まれるようなあの星空は壮大なものでした。しかし都会に出向くと夜空が明るくて星があまり見えず、あまりきれいなものとは感じませんでした。どこの人でもあのすばらしい星空を見てもらいたい、そして少しでも星への関心を高めてほしい、そう思いプラネタリウムを提案しようと考えました。



Morning



After noon



Night